

平成 26 年度 第 7 回

日南市教育委員会

会議録

平成 26 年 8 月 12 日(火) 午後 3 時から
北郷農村環境改善センター A会議室

1 会議の名称 平成 26 年度教育委員会 第 7 回会議（定例）

2 会議日時 平成 26 年 8 月 12 日（火）
午後 3 時 00 分から午後 4 時 30 分まで

3 出欠確認

（1） 出席委員 迫元茂保 藤田義弘 崎村洋子
黒木康英
欠席委員 八木真紀子

（2） 事務局 学校教育課学校教育担当監 津曲文男
学校教育課長補佐兼管理係長 和田考巨
生涯学習スポーツ課長補佐兼生涯学習係長 海老原雄一
生涯学習スポーツ課長補佐兼スポーツ推進係長 金田浩
生涯学習スポーツ課長補佐兼図書館係長 外山浩一
生涯学習スポーツ課生涯学習係主査 谷口雅彦
学校教育課指導主事 中條隆裕
学校教育課管理係主査 瀬田順司

4 場所 北郷農村環境改善センター A会議室

5 傍聴者 1 名

6 開会

【迫元委員長】

「皆さん、こんにちは。

台風 11 号が過ぎましたが被害とかはなかったでしょうか。

また本日は、午前中 2 館、午後 2 館、図書館視察をさせていただきました。

昨年に比べて、視察時間を長く取っていただいたので、図書司書と意見交換をする機会もあり、とても有意義な視察でした。

外山補佐には、大変お世話になりました。

それでは、平成 26 年度第 7 回教育委員会定例会を開会いたします。」

7 出席者及び傍聴者確認

【迫元委員長】

「出席者及び傍聴者確認についてです。本日は、八木委員が欠席です。（傍聴者 1 名）」

【津曲学校教育担当監】

「本日は、倉元学校教育課長、早田生涯学習スポーツ課長、岡本文化財担当監が別の公務が入っているため欠席です。それ以外の事務局職員全員出席です。」

8 活動報告

(1) 教育委員長活動報告【迫元委員長】

- ① 7 月 25 日、日南市人権啓発推進協議会総会・研修会があり、出席しました。

総会後の研修会では、特定非営利活動法人障害者自立応援センター「ヤッドみやざき」の事務局長の山之内俊夫氏の講演がありました。

テーマは、「障がいのある人の差別と人権について考える」でした。

この方は、海の事故により、体を痛めて、車いすの生活をしていらっしゃいます。

車いすの経験から誰もが暮らしやすい社会を作るには、一人一人の意識が大切であることを話されました。

また、国連で 2006 年に「障がいのある人の権利に関する条約」が採択され、その考え方について説明していただきました。

- ② 7 月 28 日、振徳塾がはじまり、第 1 日目は、潟上小、榎原小、大窪小、細田小を参観しました。

本年度は、各学校で実施されていました。

その関係もあったかもしれませんが、とても静かに夏休みの課題に取り組んでいました。

わからないところについては、指導の先生方が丁寧に対応していました。

本年度は、退職校長会から 3 名の先生方が指導者として参加されました。

- ③ 7 月 29 日、振徳塾参観第 2 日目です。

酒谷小、飢肥小、吾田東小、東郷小を参観しました。

人数の多い学校は、上・下学年にわかれて学習していました。

子ども達は、集中して取り組んでいました。

- ④ 7 月 30 日、宮崎大学の河原教授のところに、平成 25 年度の教育委員会の評価に

対する一連の御指導のお礼に行ってきました。

教授より、日南市の取り組みについては、高く評価していただきました。

また、更にわかりやすい評価にするための助言等もいただきました。

今後、いかしていきたいと思っています。

⑤ 7月31日、振徳塾参観第3日目です。

大堂津小、北郷小を参観しました。

両校とも複数の学年にわかれて学習しておりました。

子ども達は、一生懸命、自分の課題に取り組み、また、先生方も児童の質問に丁寧に答えていらっしゃいました。

⑥ 同日、福祉サービス第三者委員会があり、出席しました。

内容は、平成25年度に対応した事例等についての報告がありました。

⑦ 8月6日、共同募金会審査委員会正・副委員長会があり、出席しました。

内容は、第1回審査委員会にかける原案づくりを行いました。

⑧ 8月7日、本来なら、8月8日に教育委員で処平塾「サマースタディ」数学コースを参観予定でしたが、台風のため1日開催になり、教育委員全員の参観は、延期になりました。

各学年とも、プログレスコースとベーシックコースの2コースに分かれて、先生方が作成されたテキストに基づいて分かりやすく授業をされていました。

学校とは、違う雰囲気の中で、生徒達も一生懸命取り組んでいました。

先生方が一人、一人にきめ細かに指導されているのがとても印象的でした。

また、3年生については、高校の先生が指導されており、中高の連携という意味でも非常に意義があると感じました。

以上、活動報告を終わります。

(2) 教育長活動報告【黒木教育長】

① 7月25日、日南市図書館協議会に出席しました。

図書館の活性化をどうはかっていくかを検討しました。

② 7月28日、学校経営ヒアリングを行いました。

学校長に学校経営のヒアリングを行うと同時に各学校の課題等について、話を聞かせていただきました。

だいたい1校40分程度で全学校行いました。

③ 7月30日、市行財政改革推進本部会議に出席しました。

ひっ迫する市の予算の中で、行財政改革をどう進めていくかということが大きな課題になっています。

今後、地方交付税が段階的に減額されていくことがわかっている状況で、どうスリム化して行政を運営していくかという部分が課題として市に大きくのしかかっています。

- ④ 7月31日、旧吉野方小学校跡地活用選定委員会に出席しました。

1団体のみ応募があり、プロポーザルを実施しました。

結果、審査要領で定める評価点が採用基準を超えました。

市長に審査結果を報告し、ホームページにも結果を掲載したところです。

選定した団体は、旧吉野方小学校を高齢者福祉施設として活用することで進めていきます。

- ⑤ 8月1日、生涯学習スポーツ課と協議を行いました。

内容は、学校支援本部事業の来年度からの取り組みについて、具体的に協議しました。

現在、5校で実施していますが、基本的に来年度から全校で取り組むことで検討しています。

そのことに伴う予算やコーディネーターの問題等、協議をしなければならないことがまだまだ残っています。

- ⑥ 8月4日、定平塾を参観しました。

蜂之巣のコテージにおいて、1泊2日で行う予定でしたが、大雨の予報がでていたため1日開催で2日目は、中止しました。

- ⑦ 8月6日、わかすぎ塾に出席しました。

児童生徒約100名近い参加者に私が講話を行いました。

当日は、広島に原子爆弾が落とされた日です。

講話内容は、平和であることの大切さを話しました。

争いごとのない社会をどのように作っていくかということは、学校の中のいじめを防ぐことにも繋がっていくということを話しました。

- ⑧ 8月7日、処平塾を参観しました。

数学コースを2日間行う予定でしたが、台風11号の影響で1日のみの開催になりました。

宮崎大学や宮崎国際大学の学生、宮崎大学を退官された先生、高校の先生、小学校の先生、中学校の先生達、30数名近い指導者で講習にあたりました。

定平塾も33名の指導者が関わりました。

沢山の人に協力していただき、感謝しています。

- ⑨ 8月11日、ALTの辞令交付式に出席しました。

新しいALTが赴任をしました。

名前は、アレックス ナルドーニ ジェームスです。

年齢は、22歳で、ある程度日本語もできます。

非常に楽しみな若手のALTだと思っています。

以上、活動報告を終わります。

9 前回の議事録承認

了承

10 議題について

協議1 図書館教育の充実について

(中條指導主事)	学校の図書館教育の充実について説明。
(委員長)	ただいま、市や学校の取り組み、調査に関する集計の結果について説明していただきました。
(委員長)	ただいまの説明について、御質問、御意見ありませんか。
(委員長)	2点お伺いします。
(中條指導主事)	1点目は、推進校が2校あるということで発表の機会として、翌年度の日南市図書館まつりで学校の取り組みの成果を発表することになっていますが、来年度は、本年度同様子ども達による発表になるのですか。
(中條指導主事)	できれば子ども達でと考えています。
(中條指導主事)	学校の先生が自分の学校の取り組みを発表してもいいですが、どなたに聞いてもらうかを考えると図書館まつりでは難しいかなと思います。
(中條指導主事)	先生方対象ならそれでもいいですが、それについては、2月に行なわれる会で学校の図書司書担当の先生に聞いていただいて、翌年の図書館まつりでは、児童生徒が何かしら関わっているということができればと思っています。
(委員長)	私も今年の図書館まつりに行った時に会場に来られた方のメンバーを見るとここでの発表は、出来るだけ子ども達のほうがいいと思いました。

	先生方の発表は、図書主任等の会の時に発表してもらう形がいいと思います。 もう 1 点は、図書館の本の管理について、県と比べてコンピュータ管理が少ないということですが、このことを整備するには、どのくらい経費がかかりますか。
(中條指導主事)	だいたいですが、プログラムが 15 万円くらいかかると聞いています。 ソフトを購入し、全ての本を登録して、しかも全ての本にバーコードを貼らなければならないので、かなり準備に時間がかかると聞いています。 予算要求等行っていますが、なかなか確保できない状況です。 先ほど申し上げましたが生徒数、児童数の大きな学校とかで学校独自で購入されている学校もあります。 昨年度導入した学校が 1 校ありますが、今回、学校司書 4 名がその導入した学校に一定期間集まって、全部の作業を行い、使用できるようにしたという話を聞いています。
(崎村委員)	私は、南郷小学校でそのようなことをボランティアで行ったことがあります。 図書司書の先生と日程調整をしながら行いました。 コンピュータ 1 台しかなかったので、入力やバーコードを貼るのに時間がかかり作業が進みませんでした。 途中まで作業を行い、残りは、夏休み期間中に学校で行うということでした。 南郷小学校はどうなりましたか。
(中條指導主事)	確認していません。
(崎村委員)	後日教えてください。
(中條指導主事)	わかりました。
(委員長)	予算もかかるし、労力もかかるということで、すぐには、出来ないけれども方向性としては、そのような方向に向かっていると考えていいですね。 他に御質問や御意見はありませんか。
(教育長)	今年度、学校で読み聞かせのボランティアをしてくださっている地域の方や保護者の方に子ども達が感謝の作文を読む時間を振徳教育の日の時に設けたいと思っています。 そのことが一度きちんと形になると学校とボランティアで来ていただいている方とのつながりが明確になるという気がしています。

(委員長)	それと、長い間関わっていただいていますそのボランティアの方々への感謝の意味もこめて、広く保護者に知っていただきたいと思い、また多くの保護者に読み手として、参加していただきたいことを期待して、市のPTA研究大会の時に話をさせていただきます。 ボランティアでいろいろな方が学校にはいただいているので、そのようなことを広く知っていただくことは、大事なことです。是非、そのような方向で行っていただきたいと思っています。 他に御意見はありませんか。 ただいま、学校教育の中での実践等を報告していただきました。 また、本日は、図書館4館も視察させていただきました。 その中でいろいろな意見交換も出来ましたので、そのことをいかして、図書教育、図書館経営を含め充実していければと思います。 この件については、終わります。
-------	---

協議2 家庭・学校・地域の連携について

(委員長)	家庭・学校・地域の連携について説明。 今回の説明は、10月末に開催予定のPTAとのふれあいコミュニケーションに向けた自分達の研修として考えました。 何か御意見はありませんか。
(崎村委員)	地域で子どもを育てるということは、私もボランティア活動している中でよく耳にします。 実際、学校との連携とか、保護者との連携を考えると難しいところがあります。 私もボランティアで南郷町内の各小学生を募って各施設を訪問したり、ボランティア活動を行ったりしています。 今年も学校に依頼し、保護者に向けて文書を出して募ったのですが2名しか参加がありませんでした。 15名程度を目標にしていたので大変残念でした。 高齢者施設を訪問した時に子ども達とふれあいをする大変喜んでくださいます。 先ほどの委員長の説明の中で地域の行事への参加やボランティア活動に参加するという文言があって、非常にうれしかったです。

(委員長)	学校との連携、家庭と地域との連携の必要性を改めて感じました。 これは、協議して決める内容ではないので、この説明を参考にして いただいて、P T Aとのふれあいコミュニケーションの時に意見交換 が活発になるようにしていただければと思います。 この件については、終わります。
-------	--

協議 3 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について (平成 2 5 年度、シート 1 ・ 2 ・ 3)

(和田補佐)	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について (平成 25 年度、シート 1 ・ 2 ・ 3) 最終説明。
(委員長)	ただいま、説明のあったとおり、評価については、既に終わっています。 学識経験を有する者の意見ということで、お願いして、宮崎大学の 河原教授に意見をいただきました。 事前に資料を配布していただいていますので、ご覧になっていると 思います。 今後は、これを議会に報告していきます。 何か御意見はありませんか。 評価については、3 つの観点で評価をしていただいています。 読んでいただけたらわかると思いますが、非常にいい評価をしてい いただきました。 最後に記載してあるとおり、26 年度においては、前年度までの成果 を引き継ぎつつ、新規に事業が展開され、日南市の潜在的可能性をさ らに発掘し、充実と発展することを期待すると今後の期待について述 べられています。 実際、26 年度については、新たな事業に取り組んでいますので、そ の期待に応えられるのではと思っています。
(藤田委員)	河原教授がおっしゃるとおり、自画自賛ではありませんが、教育委 員会の活動について、委員長をはじめ、工夫して、地域の方々に情報 発信していただいています。 その姿勢を評価していただいていると思います。 それと市長の意向もあったと思いますが、高校生に対して、宮崎県

	内だけではなく、他の所ではどのようなことを目指しているかということから自ら体験させる機会を与えたことは、これからの励みや気づきになったのではないかと思います。
(委員長)	新しい取り組みに対して、新しい気づきをしたのではという意見です。
(教育長)	学習支援員については、特別支援教育に重点を置くという方向性をあきらかにしました。 今までは、小中連携に力を入れていて、中学校に職員を派遣し、小学校と中学校を掛け持ちで教育にあたるというような取り組みを行っていました。 各学校長から特別に支援の必要のある子ども達の教育について力を入れて欲しいとの強い要望がありました。 今までの連携を主とした考え方から特別に支援が必要な子ども達の関わりを主とする考え方に変えたのは、そういう理由からです。 先日の校長へのヒアリングでもこのことについて、非常にありがたかったという意見がありました。 願わくは、もっと人が欲しいと意見がありました。 特別支援員を取り巻く状況は厳しいものとなっています。 学習指導の支援をする方は、14名いらっしゃいますが、特別支援学級の支援にあたる方は、3名しかいらっしゃいません。 3名の方が飢肥小、飢肥中、南郷小にはいらっしゃっています。 教員免許を必要としていますが、市の非常勤講師と比べて給与面で開きがあるため、若い方は市や県の常勤講師を希望されます。
(委員長)	この評価は、25 年度の評価ですが、26 年度の評価の中でこのような課題も評価されると思います。 26 年度は、現在動いていますので、今後、そのような課題もあきらかになっていくと思います。
(教育長)	先ほどの発言の趣旨は、25 年度については、小中連携の方に人員を配置していましたが、今年度から特別支援の方に目的を変えて配置したことについて、学校現場から非常に高い評価をいただいたということです。
(委員長)	この評価表の形式についてですが、24 年度から考えていただいて今の形式になっています。 今の形式でも詳しいのですが、更に見やすくするために、今後、評価表の形式や評価すべき内容について、事務局の方で検討していただきたいと思っています。

この件については、終わります。

1 1 報告

① 学校支援地域本部事業概要について

海老原補佐説明

(委員長) 27年4月から全小中学校に導入したいというのは、基本的に決定ですね。そのことに向けての段階的な各学校への説明等はどのような計画になっていますか。

(海老原補佐) 時期としては、コーディネーターの配置数等作成し、8月の校長会で概略の資料の説明を行いたいと思っています。

また、正式な募集等の要項等を作成して、予算が確定した後に再度校長会で事業の説明をしたいと考えています。

(委員長) 中学校単位ではなく、場合によっては、地域単位ということですが、地域とか決まっているのですか。

(海老原補佐) 中学校単位が原則ですが、今一番ニーズが多いのが小学校単位での支援が多いです。

段階的には、まず全ての小学校と考えています。

これを受けて中学校という計画があります。

あとは、地域性で2つの小学校を一人のコーディネーターでという地域割についても検討しています。

9地区ありますが、1本部8地区とか、そのような統合とかも検討しています。

(教育長) 中学校については、飢肥中学校や南郷中学校が活用しています。

必要に応じて、中学校は、段階的に取り入れていきます。

(藤田委員) この事業は、平成26年度試行して、平成27年度実施という考え方ですか。

(海老原補佐) この事業は、平成21年度の吾田小学校をかわきりに行っています。

全校に導入することについては、平成27年度実施を考えています。

(教育長) この事業の予算は、国、県、市が3分の1ずつです。

1本部1事業に対して、80万くらいです

予算は、人件費で消えてしまいます。

補助のある間はいいいですが、国から補助がなくなると県も厳しくなるとお思いますので、今のうちに土曜授業に移行していくという形にしないと

いけないと思っています。

地域本部事業での活動を土曜授業に移行することによって、週の中の授業にゆとりがでるので教職員にとってもそのほうがいいのではと思っています。

一挙にはできませんので、国の動向もみながら進めて行きたいと思っています。

② 日南市の体育施設の指定管理者募集について

金田補佐説明

(委員長) 2つ以上のエリアに応募されている場合とありますが、2つ以上のエリアとは、北郷地区、日南地区両方という意味ですか。

(金田補佐) そのとおりです。

日南、北郷、南郷のエリアをわけていますので、申請があれば、2つでも、3つでも受け付けます。

1 2 その他

(1) 9月行事予定について

(2) 第8回 教育委員会会議（定例）

① 日時 平成26年9月2日(火)、午後1時から

② 場所 日南市役所・南別館2階会議室

(3) 日南市教育支援センター参観について

(4) 保育所・幼稚園及び処平塾「サマースタディー」の参観の日程について

1 3 閉会

会議録を調整し署名する。

平成 年 月 日

教育委員長

教育委員長職務代理者

教育委員

教育委員

教育長
